

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第37号 平成22年10月27日

3回戦進出は来年に持ち越し・・・

大きく感じたレベルの差！

|   | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | R |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 |   | 8 |
| G | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |   | 0 |



10/24(日)三ツ沢公園野球場に出向き、秋季区民大会1回戦を戦った。過去雨で2回も流れていただけに、待ちわびた感もあったが、わくわく感も同時に沸いていた。それは、昨今のチーム事情にある。打線が湿りがちな我がチームであったが、今期は1試合のチーム打撃がかなり向上しており、先制すれば、何とかなるかも？と思ったからである。そんなわくわく感の中、プレイボールとなった。先発は、満を持しての登板@達脇、我がチーム後攻でゲームは始まった。始まってすぐに感じたのは、相手打者の振りの鋭さである。初回を0点に抑えたものの、打たれた打球は、全て外野に運ばれたからである。そして、その裏の我がチームの攻撃、相手投手の投球練習を見て、またもや感じるものがあった。昨日のドームでの投手もそこそこの速さの直球であったが、今日の投手は、それ以上且つ、制球の良さである。キャッチャーミットが唸りを上げる程の速球は、二人から早くも2つの三振を奪い取った。終わってみれば、昨日に続き1安打、外野に運んだ打球は、この安打を合わせ計3本、そして三塁踏めず、という完敗だった。先発した達脇も心がおれそうなところをぐっところえ、最後まで投げぬいた。ベンチも上の写真のとおり、歯がゆかったであろう。しかし、誰一人、腐る事無く戦いぬけたのは、今までのチームでは有り得ないことであろう。ここでも、チームの成長を感じた。ゲーム終了後に、相手チーム事情を知るメンバーからの情報を聞いたが、メンバーの殆どが大学までしっかり活動していたメンバーが主流との事。木製バットを持った選手が数人いたのもこれで頷ける。そんな相手に初戦とは、くじ運だけが悪かったかもしれない。

悲願の区民大会3回戦進出は、来年に持ち越しとなったが、それまで、少しずつまた力を付けよう！それにしても上手かった。打席での軸がぶれないスイング。小業満載の打撃、安定した守備、そして抜かりない走塁。勉強するとこ盛りだくさんだった。でも考えようによっては、こんなチームと出来て有難いことです！また、来年！それまで、頑張ろう！